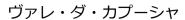


Vale da Capucha





ヴァレ・ダ・カプーシャは1920年代から続く家族経営のワイナリーで、2009年に第5世代のマヌエルとペドロ兄弟が再出発を果たした。ペドロはリスボン農業専門学校で学んだのち、国内外のワイナリーで研鑽を積み、2006年には所有する12haの畑をすべてポルトガル固有品種に植え替えた。主要品種はアリントやフェルナォン・ピレシュで、赤はトゥリガ・ナショナルやティンタ・ロリズが中心。樹齢80年を超えるカシュテラォンも残しておりまた、例外的にペドロ本人のお気に入りの品種であるシラーも少量植わる。栽培は2015年にバイオロジック認証を取得し、醸造は白に400~500L木樽やステンレスタンク、赤にコンクリートタンクや大樽を用い、上級白は2年以上の樽熟成を経てリリースされる。特にアルヴァリーニョは3年の熟成をすることも。時間をかけてこそ真価を現すワインを造ることが彼らの目指すところだ。

		_	
	○Fossil Branco フォッシル・ブランコ	備考	キンメリジャン士壌で化石が良く見つかる土壌である、彼らのテロワールのを表したエチケットとワイン名。しっかりとした収穫量の取りやすいフェルナオン・ピレシュを主体に複雑性を与えるためにそのほかの品種をブレンド。リシュボアエリアのアリント、その他地域で栽培される、ヴィオズィーニョ(ドウロ)、アンタン・ヴァス(アレンテージョ)、アルバリーニョ(ヴィーニョ・ヴェルデ)など。高い酸と厚みのある味わいで、香りにも味わいにも海の影響を強く感じる。
	品種: フェルナォン・ピレシュ主体、 アリント、その他地場品種 植樹: 2000年代 位置: 120~200m、複数の区画 土壌: キンメリジャン、薄い表土		
	○Torres Vedras Branco トレシュ・ヴェドラシュ・ブランコ		サオン・ジョゼと呼ばれる南西向き の、果実が熟しやすい単一区画のワイ ン。フォッシル・ブランコにくらべ、 果実味と骨格のあるワインに仕上がっ ている。アルコール度数も比較的高 い。
CAPUCHA COCTORRES VYDRAS Tomas partients demanda latinata seguinal artificación de la control demanda latinata de la control de la control demanda la control de la contr	品種: フェルナォン・ピレシュ、アリ ント 植樹: 2000年代 位置: 150m、南西向き 土壌: キンメリジャン、薄い表土	備考	
THO MANCO	○Parcela São José パルセラ・サォン・ジョゼ	備考	サオン・ジョゼと呼ばれる南西向きの 単一畑で栽培されたブドウで醸造した。 同ワイナリーのトレシュ・ヴェドラ シュ・ブランコの長期熟成ヴァージョン。
VALE DA CAPUCHA 605 Tarres varien Perceia São Joné Fernão Olires # Aireto ***********************************	畑 品種: フェルナォン・ピレシュ85%、 アリント15% 位置: 南西向き ダイレクトプレス ステンレクタンクと225L/550Lの古樽 で発酵 ステンレクタンクと225L/550Lの古樽 で約22ヵ月間熟成、この間バトナー ジュは行わない		

VALE DA CAPUCHA VINHO DE DORTUCAL APIRO MERIORI DE TRANSPORTO DE TRANSPO		O Arinto アリント				その高い酸度のおかげで、ポルトガル でも広く栽培されている品種で、時に
	畑	品種: アリント100% 植樹: 2000年代 位置: 120~200m 土壌: キンメリジャン、薄い表土	譲造	木樽で醗酵 木樽で2年間熟成	備考	はスパークリングワインにもされることがある。 カプーシャではしっかりと果実を成熟させ、フォッシル・ブランコにブレンドしなかった分をさらに長い間熟成させ、複雑性と骨格を与えている。本キュヴェの初VTは2013年。
		○ "Poço do Gao ポッソ・ド・ガード		イベリア半島北西、主にガリシア州で 近年クオリティーワインを造ることの		
VALE DA CAPUCHA VINIO DE FORTUGAL PINO D	畑	品種: ゴーヴェイオ100% 植樹: 2000年代 位置: 120~200m 土壌: キンメリジャン、薄い表土	譲造	木樽で醗酵 木樽で2年間熟成	備考	できる白品種として、注目されている、ゴーヴェイオ種。スペイン語のゴデッロとの呼ばれ方の方が、有名か。フルボディーで複雑性のあるワインができやすいとされ、アリントに比べて酸は低い。 「ポッソ・ド・ガード」は「牛の井戸」を意味する畑名。 本キュヴェの初VTは2013年。
		○"Cedro" Alvarão セードロ・アルヴァラォン				アルヴァリーニョは高い酸と豊かな香
VALE DA CAPUCHA VINO DE PORTUGAL *CONTO ANGERIA **CONTO ANGERIA **SENTINA ANGERIA **	畑	品種: アルヴァリーニョ100% 植樹: 2000年代 位置: 120〜200m 土壌: キンメリジャン、薄い表土	譲造	木樽で醗酵 木樽で3年間熟成	備考	りが特徴だが、カプーシャでは収量制限と樽醗酵、シュールリーでの樽熟成をすることで、骨格と厚みのある味わいをだしている。そのため、この品種らしくないとみなされ原産地呼称を取得できないことが多く、アルヴァリーニョと表記することが出来ない。ポルトガル語で ーニョ (inho) は小さい、かわいいを意味する縮小辞(語尾につけて、〜ちゃんといったニュアンス)。一方 アォン (ǎo) は偉大な、大きいを意味する拡大辞なので、もじってアルヴァラオンと名付けた。本キュヴェの初VTは2011年。
rmio fisito iss		● Palhete パリェー テ				ポルトガルで伝統的に造られてきた、
VALE DA CAPUCHA VALE DA CAPUCHA Palnete The state of	畑	品種: アリント(白)、カステリー ニョ(赤) 植樹: 2000年代 位置: 120~200m 土壌: キンメリジャン、薄い表土	譲造	ステンレスタンクで醗酵 ステンレスタンクで12ヵ月間熟成	備考	赤白品種の混醸を特にパリエーテと呼び、白品種の酸と赤品種の果実味が両立している。 色は薄目で少しくぐもりがある。心地よい気軽さで親しみやすく、冷やして飲むのがおすすめ。瓶の色も無色透明で涼し気。
		● Fossil Tinto フォッシル・ティント				
	畑	品種: トゥリガ・ナシオナル主体、 ティンタ・ロリシュ、シラー 位置: 120〜200m 土壌: キンメリジャン、薄い表土	譲造	解放桶で醗酵 木樽とステンレスタンクで18ヵ月間熟 成	備考	フードフレンドリーな気軽な赤ワイン を模索中だそうだが、抑制的な果実味 で、低収量のトゥリガ・ナシオナルの せいか、シリアスな味わいに仕上がっ ている。じっくり時間をかけて熟成さ せているので、飲みごたえもある。